

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28年度

1補助金名称	きれいなまちづくり事業補助金				2担当課名	生涯学習課				
3予算科目	款	10	項	5	目	5	事業コード	1074		
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	H23	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市きれいなまちづくり推進事業実施要綱								
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助				
8交付先分類	d不特定団体及び個人									
9交付先	複数団体									
10補助金の目的	公共空間の美化活動を助成し、環境美化への市民意識の高揚を図る									
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	公共空間への愛着が育まれる(数値目標はなし)									
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	公共空間の美化活動									
13積算根拠の有無	有									
14積算の考え方 計算式	2年度以降事業規模により1・2・3万円									
15補助対象経費の設定の有無	有									
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	○	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目	環境美化に必要な資機材									
17団体等の構成員数	26年度	27年度	補足							
団体	—	—								
人数	—	—								
	決算		予算		(千円)					
18市の補助金の財源	26年度	27年度	28年度	補足						
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	192	289	500							
合計	192	289	500							
19団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足							
補助金	0	0								
助成金	0	0								
市	0	0								
その他	0	0								
事業収入	0	0								
会費	0	0								
繰越金	0	0								
その他	0	0								
合計	0	0								
市の補助金の割合	0	0								

補助金名称	きれいなまちづくり事業補助金	担当課名	生涯学習課
-------	----------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H26	年度
3内容	物品支給から物品購入費を含む補助金の交付とした。				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	きれいなまちづくり事業補助金	担当課名	生涯学習課
-------	----------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	美化活動に終わりはないため
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	要綱に定めている
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	要綱に定めている
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	要綱の定めによる
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	—	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	公共空間への愛着が育まれる(数値目標はなし)
2達成状況	

3補助効果の評価	
4評価の理由	

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a 現行のまま継続		
「a 現行のまま継続」の場合		「b 見直した上で継続」の場合	
継続の理由	市民協働によるまちづくりを進める点において必要	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c 廃止する」の場合		「d その他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28年度

1補助金名称	市民協働事業補助金				2担当課名	生涯学習課		
3予算科目	款	10	項	5	目	5	事業コード	1074
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H23	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市パートナーシップ事業補助金交付要綱						
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助		
8交付先分類	d不特定団体及び個人							
9交付先	複数団体							
10補助金の目的	地域の活性化又は地域の課題解決に向けた市民の自主的な活動を助成し、市民協働によるまちづくりを推進する							
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	公共サービスを担う市民団体の発意が育まれる(数値目標はなし)							
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	行政又は補助金対象者が提案した事業内容							
13積算根拠の有無	無							
14積算の考え方 計算式	補助金対象者の申請額をもとに、市民協働によるまちづくり推進協議会の審査を経て決定							
15補助対象経費の設定の有無	有							
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目	団体運営費や構成員への人件費など、5万円以上の備品は対象外							
17団体等の構成員数	26年度	27年度	補足					
団体	—	—						
人数	—	—						
	決算		予算		(千円)			
18市の補助金の財源	26年度	27年度	28年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	1,206	1,540	2,700					
合計	1,206	1,540	2,700					
19団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足					
補助金	0	0						
助成金	0	0						
事業収入	0	0						
会費	0	0						
繰越金	0	0						
その他	0	0						
合計	0	0						
市の補助金の割合	0	0						

補助金名称	市民協働事業補助金	担当課名	生涯学習課
-------	-----------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H24	年度
3内容	補助率(1/2→5/4)、限度額(300千円→500千円)の引き上げ				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	市民協働事業補助金	担当課名	生涯学習課
-------	-----------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	○	
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	要綱の定めによる
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	—	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	公共サービスを担う市民団体の発意が育まれる(数値目標はなし)
2達成状況	

3補助効果の評価	
4評価の理由	

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a 現行のまま継続		
「a 現行のまま継続」の場合		「b 見直した上で継続」の場合	
継続の理由	市民協働によるまちづくりを進める点において必要	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c 廃止する」の場合		「d その他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28年度

1補助金名称	スポーツ選手大会出場奨励金				2担当課名	生涯学習課		
3予算科目	款	10	項	6	目	1	事業コード	1090
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H22	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有	例規名称		裾野市スポーツ選手大会出場奨励金交付要綱				
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助		
8交付先分類	d不特定団体及び個人							
9交付先	個人							
10補助金の目的	スポーツ選手の育成支援							
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市内スポーツ選手の各種大会への参加数増加							
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	スポーツ大会への参加							
13積算根拠の有無	有							
14積算の考え方 計算式	国際大会オリンピック50,000円世界大会30,000円 全国大会10,000円 東海大会5,000円							
15補助対象経費の設定の有無	無							
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17団体等の構成員数	26年度	27年度	補足					
団体	—	—						
人数	—	—						
	決算		予算		(千円)			
18市の補助金の財源	26年度	27年度	28年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	590	755	700					
合計	590	755	700					
19団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足					
補助金								
助成金	市	—						
	その他	—						
事業収入	—	—						
会費	—	—						
繰越金	—	—						
その他	—	—						
合計	—	—						
市の補助金の割合	—	—						

補助金名称	スポーツ選手大会出場奨励金	担当課名	生涯学習課
-------	---------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	スポーツの奨励、競技スポーツを行う市民への励み
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	



補助金名称	スポーツ選手大会出場奨励金	担当課名	生涯学習課
-------	---------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	奨励金という性質から終期設定はなじまない
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	—	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	—	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	—	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	—	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市内スポーツ選手の各種大会への参加数増加
2達成状況	過去3年間で交付件数は44件→53件→67件と増加傾向にある

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	過去3年間で交付件数(大会参加数)が増加しているため

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	対象大会の設定、区分を再検討
		見直しの時期	平成28年度
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	市民スポーツ祭参加大会運営費補助金				2 担当課名	生涯学習課				
3 予算科目	款	10	項	6	目	1	事業コード	1090		
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	S47	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5 根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市スポーツ推進事業補助金交付要綱								
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	b事業費補助				
8 交付先分類	c特定団体(その他)									
9 交付先	NPO法人裾野市スポーツ協会加盟団体									
10 補助金の目的	市民スポーツの推進									
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市内スポーツ活動の活性化									
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	市スポーツ祭参加									
13 積算根拠の有無	有									
14 積算の考え方 計算式	経費の1/2で1大会30,000円を限度									
15 補助対象経費の設定の有無	有									
16 補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目	報償費、消耗品費、役務費、使用料、負担金、その他市長が特に必要と認める経費									
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足							
団体										
人数										
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)					
	26 年度	27 年度	28 年度		補足					
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	251	157	330							
合計	251	157	330							
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足							
補助金										
助成金	市	-								
	その他	-								
事業収入		-								
会費		-								
繰越金		-								
その他		-								
合計		-								
市の補助金の割合		-								

補助金名称	市民スポーツ祭参加大会運営費補助金	担当課名	生涯学習課
-------	-------------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H27	年度
3内容	補助金交付対象事業を定めた。補助率の変更(明記無→予算の範囲内)。提出様式を定めた。				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	市民スポーツ祭参加大会運営費補助金	担当課名	生涯学習課
-------	-------------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	市民スポーツ推進のために毎年度実施しているため設定していない
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市内スポーツ活動の活性化
2達成状況	過去3年間で交付件数は5件のまま推移している

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	過去3年間で交付件数が変化していないため

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	交付対象・金額の再検討
		見直しの時期	平成28年度
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	スポーツ教室開催補助金				2 担当課名	生涯学習課				
3 予算科目	款	10	項	6	目	1	事業コード	1090		
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	S47	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5 根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市スポーツ推進事業補助金交付要綱								
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	b事業費補助				
8 交付先分類	c特定団体(その他)									
9 交付先	NPO法人裾野市スポーツ協会加盟団体									
10 補助金の目的	市民スポーツの推進									
11 補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市内スポーツ活動の活性化									
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	市スポーツ教室開設									
13 積算根拠の有無	有									
14 積算の考え方 計算式	経費の1/2で1教室50,000円を限度									
15 補助対象経費の設定の有無	有									
16 補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目	報償費、消耗品費、役務費、使用料、負担金、その他市長が特に必要と認める経費									
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足							
団体										
人数										
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)					
	26 年度	27 年度	28 年度		補足					
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	250	250	300							
合計	250	250	300							
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足							
補助金										
助成金	市	-								
	その他	-								
事業収入		-								
会費		-								
繰越金		-								
その他		-								
合計		-								
市の補助金の割合		-								

補助金名称	スポーツ教室開催補助金	担当課名	生涯学習課
-------	-------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H27	年度
3内容	補助金交付対象事業を定めた。補助率の変更(明記無→予算の範囲内)。提出様式を定めた。				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	スポーツ教室開催補助金	担当課名	生涯学習課
-------	-------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	市民スポーツ推進のために毎年度実施しているため設定していない
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市内スポーツ活動の活性化
2達成状況	過去3年間で交付件数は9件→9件→6件と推移している

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	H27の減少は市民体育館リニューアルと重なったためであると考えられるため

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	交付対象・金額の再検討
		見直しの時期	平成28年度
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28年度

1 補助金名称	市子連補助金				2 担当課名	生涯学習課							
3 予算科目	款	10	項	5	目	1	事業コード	1058					
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		S35以前	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市社会教育関係団体活動費補助金交付要綱								
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	a運営費補助(団体・施設等)							
8 交付先分類	c特定団体(その他)												
9 交付先	裾野市子ども会育成連絡協議会												
10 補助金の目的	青少年の健全育成												
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	単位子ども会の発展と育成者のネットワーク形成 【目標】会員加入率50%												
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	会員リーダー研修、広報紙発行 球技(レク)大会 子ども発表・展示会												
13 積算根拠の有無	有												
14 積算の考え方 計算式	事業費の1/2 単子数×20,000												
15 補助対象経費の設定の有無	無												
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金				
その他補助対象の項目													
17 団体等の構成員数	26年度	27年度	補足										
団体	42	41											
人数	2364	2267											
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	26年度	27年度	28年度	補足									
国・県支出金	0	0	0	H28は、980千円で交付決定									
その他補助金	0	0	0										
一般財源	1,380	1,380	1,380										
合計	1,380	1,380	1,380										
19 団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足										
補助金助成金	市	1,380	1,380	その他収入のうち400千円は帳簿上の処理のみで、現金収入なし									
	その他	140	120										
事業収入	55	29											
会費	350	336											
繰越金	364	389											
その他	520	420											
合計	2,809	2,674											
市の補助金の割合	49%	52%											



補助金名称	市子連補助金	担当課名	生涯学習課
-------	--------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H28	年度
3内容	補助金の算定根拠を定めた				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	×	加入単子数と事業量が減少しているにもかかわらず、補助金だけは同額を要求してくるため
③広く市民生活の向上に貢献するか	△	単子子ども会への加入率も減少傾向にあるため
④市民ニーズが高い事業か	×	単子子ども会では特色ある活動が行われているが、市子連へのニーズは低い
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	△	影響はあるものの、事業の見直しにより活動は維持できるものとする
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	△	数値目標は設定されていない
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	△	市子連に加入していない単子もあるため
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	△	要綱では規定していない

補助金名称	市子連補助金	担当課名	生涯学習課
-------	--------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	自活が見込めず終期設定は困難 3年毎に見直し
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	平成28年度に要綱で規定する予定
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	×	平成28年度に要綱で規定する予定
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	×	平成28年度に要綱で規定する予定
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	△	現在の活動を維持する以上は会費の増額を検討すべき
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	単位子ども会の発展と育成者のネットワーク形成 【目標】会員加入率50%
2達成状況	単位子ども会自体は個々に特色ある活動を展開しており、育成者同士のつながりも形成されている。

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	単位子ども会は積極的に活動しているため

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	平成28年度で算定根拠を明確にしたため	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28年度

1 補助金名称	ボーイスカウト育成補助金				2 担当課名	生涯学習課		
3 予算科目	款	10	項	5	目	1	事業コード	1058
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
5 根拠例規の有無	有	例規名称		裾野市社会教育関係団体活動費補助金交付要綱				
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	a運営費補助(団体・施設等)		
8 交付先分類	c特定団体(その他)							
9 交付先	ボーイスカウト沼駿地区裾野支部							
10 補助金の目的	青少年の健全育成							
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	奉仕の精神、野営技能を習得し、社会の発展の先頭に立って活躍できる人材を輩出。 【目標】年間活動述べ参加者数100人							
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	3団、4団のスカウト活動							
13 積算根拠の有無	無							
14 積算の考え方 計算式	定額							
15 補助対象経費の設定の有無	無							
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17 団体等の構成員数	26年度	27年度	補足					
団体	2	2	H28は68名					
人数	90	79						
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26年度	27年度	28年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	180	180	180					
合計	180	180	180					
19 団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足					
補助金助成金	市	180	180	3団、4団のスカウト事業への補助へと切り替えることを検討中				
	その他	27	24					
事業収入	0	0						
会費	574	504						
繰越金	78	51						
その他	34	32						
合計	893	791						
市の補助金の割合	20%	23%						

補助金名称	ボーイスカウト育成補助金	担当課名	生涯学習課
-------	--------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	×	一部の団体活動
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	△	3団、4団の活動費に使われているが、具体的な各々の団からは事業報告、収支報告がないため必要性が確認できない
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	△	3団、4団の活動に影響を及ぼすことが考えられるが、財務状況が不明
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	×	3団、4団へ直接補助すべき
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	△	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	△	数値目標は設定されていない
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	△	補助金額(定額)の根拠が不明確

補助金名称	ボーイスカウト育成補助金	担当課名	生涯学習課
-------	--------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	自活が見込めず終期設定は困難 3年毎に見直し
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	平成28年度に要綱で規定する予定
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	×	平成28年度に要綱で規定する予定
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	×	平成28年度に要綱で規定する予定
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	△	3団、4団の財務状況が不明
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	△	現在の活動を維持する以上は会費の増額を検討すべき
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	×	3団、4団に分配しているため、交付先を変更する
⑩履行確認は、適切にできているか	△	3団、4団から資料提出を求める

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	奉仕の精神、野営技能を習得し、社会の発展の先頭に立って活躍できる人材を輩出。 【目標】年間活動述べ参加者数100人
2達成状況	登録者数は減少傾向にあるが、毎年、通例の奉仕活動を行い、指導者も育っている。

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	毎年計画どおりに活動を実施しているため

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	交付先を直接3団、4団とし、事業内容を明確化する
		見直しの時期	平成28年度
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28年度

1 補助金名称	ガールスカウト育成補助金				2 担当課名	生涯学習課		
3 予算科目	款	10	項	5	目	1	事業コード	1058
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
5 根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市社会教育関係団体活動費補助金交付要綱			
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	a運営費補助(団体・施設等)		
8 交付先分類	c特定団体(その他)							
9 交付先	ガールスカウト静岡県第38団							
10 補助金の目的	青少年の健全育成							
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	高い自己肯定感と世界的視野を培い、自ら進んでに社会に貢献できる女性を育成。 【目標】年間活動述べ参加者数30人							
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	募金活動、防災技能の習得							
13 積算根拠の有無	無							
14 積算の考え方 計算式	定額							
15 補助対象経費の設定の有無	無							
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17 団体等の構成員数	26年度	27年度	補足					
団体	1	1	H28は3名					
人数	6	4						
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26年度	27年度	28年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	34	34	34					
合計	34	34	34					
19 団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足					
補助金 助成金	市	34	34					
	その他	0	0					
事業収入	0	0						
会費	60	20						
繰越金	12	1						
その他	0	0						
合計	106	55						
市の補助金の割合	32%	62%						

補助金名称	ガールスカウト育成補助金	担当課名	生涯学習課
-------	--------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	×	一部の団体活動
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	△	数値目標は設定されていない
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	△	補助金額(定額)の根拠が不明確

補助金名称	ガールスカウト育成補助金	担当課名	生涯学習課
-------	--------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	自活が見込めず終期設定は困難 3年毎に見直し
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	平成28年度に要綱で規定する予定
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	×	平成28年度に要綱で規定する予定
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	×	平成28年度に要綱で規定する予定
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	△	現在の活動を維持する以上は会費の増額を検討すべき
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	高い自己肯定感と世界的視野を培い、自ら進んでに社会に貢献できる女性を育成。 【目標】年間活動述べ参加者数30人
2達成状況	登録者数は減少傾向にあるが、毎年、通例の奉仕活動を行っている。

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	毎年計画どおりに活動を実施しているため

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	事業費補助へ切り替え
		見直しの時期	平成28年度
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			



# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	文化協会補助金				2 担当課名	生涯学習課		
3 予算科目	款	10	項	5	目	1	事業コード	1059
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
5 根拠例規の有無	有	例規名称		裾野市社会教育関係団体活動費補助金交付要綱				
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	a運営費補助		
8 交付先分類	c特定団体(その他)							
9 交付先	裾野市文化協会							
10 補助金の目的	芸術・芸能・文化活動の振興							
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	文化団体による、伝統文化の普及							
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	協会だより発行 文化探訪 加盟団体への育成費							
13 積算根拠の有無	無							
14 積算の考え方 計算式	定額							
15 補助対象経費の設定の有無	無							
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足					
団体	44	52						
人数	998	1074						
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26 年度	27 年度	28 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	410	410	410					
合計	410	410	410					
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足					
補助金			別に市民芸術祭委託会計あり 委託料収入500千円					
助成金								
市	410	410						
その他	0	0						
事業収入	0	0						
会費	643	705						
繰越金	227	82						
その他	0	0						
合計	1,280	1,197						
市の補助金の割合	32%	34%						

補助金名称	文化協会補助金	担当課名	生涯学習課
-------	---------	------	-------

### (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

### (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	△	会員数1,074名である。
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	△	補助金で行われている事業としては、文化探訪と協会だより発行であるが、市民芸術祭の運営母体として支援が必要となる
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	△	1,000人を超える会員であるため、多少の影響が出ると考えられる。
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	△	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	△	数値目標は設定されていない
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	△	特定の団体しか参加できないため
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	△	補助金額(定額)の根拠が不明確

補助金名称	文化協会補助金	担当課名	生涯学習課
-------	---------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	今後検討
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	今後検討
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	×	平成28年度に要綱で規定する予定
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	補助金で行われている事業としては、文化探訪と協会だより発行である
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	△	会員会費・団体会費のみの収入である
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	文化団体による、伝統文化の普及
2達成状況	

3補助効果の評価	
4評価の理由	

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
継続の理由	「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合
			見直しの内容 交付先団体の状況を把握し、金額等を検討
			見直しの時期 平成28年度
廃止の理由	「c廃止する」の場合		「dその他」の場合
			その他の内容
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28年度

1 補助金名称	みんなのつどい補助金					2 担当課名	生涯学習課							
3 予算科目	款	10	項	5	目	1	事業コード	1059						
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無											
	開始		H14	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)					
5 根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市社会教育関係団体活動費補助金交付要綱									
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	b事業費補助								
8 交付先分類	b特定団体(市事務局)													
9 交付先	みんなのつどい実行委員会													
10 補助金の目的	みんなのつどいの開催													
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	各団体の活性化と地域発展 【目標】一般来場者200名													
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	みんなのつどい													
13 積算根拠の有無	無													
14 積算の考え方 計算式	定額													
15 補助対象経費の設定の有無	無													
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金					
その他補助対象の項目														
17 団体等の構成員数	26年度	27年度	補足											
団体														
人数														
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)									
	26年度	27年度	28年度	補足										
国・県支出金	0	0	0											
その他補助金	0	0	0											
一般財源	180	180	180											
合計	180	180	180											
19 団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足											
補助金助成金	市	180	180	イベント開催時に実行委員会を立ち上げて予算を立てるため、現時点では28年度予算は未確定。										
	その他	0	0											
事業収入	0	0												
会費	0	0												
繰越金	69	81												
その他	0	0												
合計	249	261												
市の補助金の割合	72%	69%												

補助金名称	みんなのつどい補助金	担当課名	生涯学習課
-------	------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	×	開催することが目的となってしまう
③広く市民生活の向上に貢献するか	△	展示内容の一部で生活に役立つ情報の提供がある
④市民ニーズが高い事業か	×	参加している市民団体活動の紹介等のニーズのみ
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	×	参加団体に出品費用を負担してもらい、チラシ印刷費を直接執行すれば補助金は不要となる
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	△	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	△	数値目標は設定されていない
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	△	特定の団体しか参加できないため
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	△	補助金額(定額)の根拠が不明確

補助金名称	みんなのつどい補助金	担当課名	生涯学習課
-------	------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	平成29年度以降で直接執行へと切り替えできるか検討
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	平成28年度に要綱で規定する予定
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	×	平成28年度に要綱で規定する予定
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	×	補助金以外の財源がなく、対応できていない
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	×	出店に係る費用は自己負担してもらうよう調整予定
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	各団体の活性化と地域発展 【目標】一般来場者200名
2達成状況	毎年イベントを開催しているが、参加団体も一般来場者も減少傾向にある

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	来場者の大半は参加団体関係者であり、身内のためのイベントという印象が強い

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	補助金を減額し、参加団体の費用負担を求める。イベントの開催時期や開催手法を工夫する
		見直しの時期	平成28年度
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	市PTA連合会補助金				2 担当課名	生涯学習課		
3 予算科目	款	10	項	5	目	1	事業コード	1059
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
5 根拠例規の有無	有	例規名称		裾野市社会教育関係団体活動費補助金交付要綱				
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	運営費補助(団体・施設等)		
8 交付先分類	c特定団体(その他)							
9 交付先	市PTA連合会							
10 補助金の目的	市PTA連合会活動の実施							
11 補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	教育環境の充実化							
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	会議の開催、全国大会等への参加 家庭教育委員会研修(旧母親委員会)							
13 積算根拠の有無	無							
14 積算の考え方 計算式	定額							
15 補助対象経費の設定の有無	無							
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足					
団体	13	13						
人数		3980						
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26 年度	27 年度	28 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	162	162	162					
合計	162	162	162					
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足					
補助金 助成金	市	162	162					
	その他	0	0					
事業収入	0	0						
会費	569	541						
繰越金	354	280						
その他	88	45						
合計	1,173	1,028						
市の補助金の割合	14%	16%						

補助金名称	市PTA連合会補助金	担当課名	生涯学習課
-------	------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	△	補助金が既得権化し、補助金の使途が見失われている
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	△	保護者であれば、必然的に加入する団体であるため
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	×	補助金の使途が不明
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	×	補助金額以上の繰越金があるため
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	×	当面の間、自主財源のみで活動可能
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	△	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	△	数値目標は設定されていない
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	△	市内公立小中学校の在校生の家庭に限定されるため
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	△	補助金額(定額)の根拠が不明確



補助金名称	市PTA連合会補助金	担当課名	生涯学習課
-------	------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	平成28年度で廃止もしくは一定期間休止
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	平成28年度に要綱で規定する予定
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	×	平成28年度に要綱で規定する予定
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	×	平成28年度に要綱で規定する予定
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	×	補助金額を超える繰越金がある
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	教育環境の充実化
2達成状況	一部の保護者は自主的に学校行事に協力し、各学校で特色あるPTA活動を展開している。

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	研修参加費を賄っている

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	dその他		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由	自主財源だけで3年間ほど自活可能であり、今後3年間で事業の見直しや自主財源の確保を求める	その他の内容	
廃止の時期	平成28年度		

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	茶手もみ保存会補助金				2担当課名	生涯学習課							
3予算科目	款	10	項	5	目	3	事業コード	1068					
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H13以前	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市社会教育関係団体活動費補助金交付要綱								
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助							
8交付先分類	c特定団体(その他)												
9交付先	裾野市茶手揉保存会												
10補助金の目的	伝統文化の振興、伝承												
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	茶手揉み技術の向上と後継者の育成												
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	イベント等での茶手揉み実演、会員の研修												
13積算根拠の有無	無												
14積算の考え方 計算式	定額												
15補助対象経費の設定の有無	無												
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金				
その他補助対象の項目													
17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足										
団体	1	1											
人数	7	7											
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	26 年度	27 年度	28 年度	補足									
国・県支出金	0	0	0										
その他補助金	0	0	0										
一般財源	43	43	43										
合計	43	43	43										
19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足										
補助金													
助成金	市	43	43										
	その他	0	0										
事業収入	224	161											
会費	24	38											
繰越金	1	8											
その他	23	20											
合計	315	270											
市の補助金の割合	14%	16%											

補助金名称	茶手もみ保存会補助金	担当課名	生涯学習課
-------	------------	------	-------

### (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H23	年度
3内容	補助額の減額(45→43)				

### (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	△	活動により、広く市民が直接恩恵を受けるわけではない
④市民ニーズが高い事業か	△	活動により、広く市民が直接恩恵を受けるわけではない
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	市内の伝統文化関連団体の中で特に活動実績と継続性がある
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	△	補助金額(定額)の根拠が不明確

補助金名称	茶手もみ保存会補助金	担当課名	生涯学習課
-------	------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	今後検討
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	今後検討
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	△	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	茶手揉み技術の向上と後継者の育成
2達成状況	継続的な活動を行っている

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	茶手揉み実演・研修などの事業面、会員数などの組織体制の安定性と継続性

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	交付先の事業、組織が安定して推移。伝統文化継承の支援を目的とした補助であること	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	葛山城址保存会補助金				2 担当課名	生涯学習課		
3 予算科目	款	10	項	5	目	3	事業コード	1068
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
5 根拠例規の有無	有	例規名称		裾野市社会教育関係団体活動費補助金交付要綱				
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	b事業費補助		
8 交付先分類	c特定団体(その他)							
9 交付先	葛山城址保存会							
10 補助金の目的	文化財の保護、活用							
11 補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市指定文化財葛山城址の、所有者(団体)による保護、活用							
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	下刈りや看板補修などの整備、冊子やイベントによるPR							
13 積算根拠の有無	無							
14 積算の考え方 計算式	定額							
15 補助対象経費の設定の有無	無							
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足					
団体	1	1						
人数	250	250						
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26 年度	27 年度	28 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	51	51	51					
合計	51	51	51					
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足					
補助金								
助成金	市	51	51					
	その他	0	0					
事業収入	20	20						
会費	258	244						
繰越金	24	36						
その他	32	105						
合計	385	456						
市の補助金の割合	13%	11%						

補助金名称	葛山城址保存会補助金	担当課名	生涯学習課
-------	------------	------	-------

### (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H23	年度
3内容	補助額の減額(54→51)				

### (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	△	活動により、広く市民が直接恩恵を受けるわけではない
④市民ニーズが高い事業か	△	活動により、広く市民が直接恩恵を受けるわけではない
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	市内の文化財関連団体の中で特に活動実績と継続性がある
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	△	補助金額(定額)の根拠が不明確

補助金名称	葛山城址保存会補助金	担当課名	生涯学習課
-------	------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	今後検討
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	今後検討
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	△	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市指定文化財葛山城址の、所有者(団体)による保護、活用
2達成状況	継続的な活動を行っている

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	葛山城址関連の調査・普及などの事業面、会員数などの組織体制の安定性と継続性

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	交付先の事業、組織が安定して推移。文化財保護・活用の支援を目的とした補助であること	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	世界遺産裾野市民協議会補助金				2 担当課名	生涯学習課		
3 予算科目	款	10	項	5	目	3	事業コード	1068
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H23	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有		例規名称		富士山世界文化遺産登録推進事業補助金交付要綱			
6 性質別分類①	d 市単独助成				7 性質別分類②	b 事業費補助		
8 交付先分類	b 特定団体(市事務局)							
9 交付先	富士山世界文化遺産裾野市民協議会							
10 補助金の目的	富士山及び関連資源の保護、保全及び地域資源の活用							
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	富士山芸術展の開催により参加団体の育成及び鑑賞機会の提供							
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	富士下山の開催、富士山の日関連事業の開催							
13 積算根拠の有無	無							
14 積算の考え方 計算式	定額							
15 補助対象経費の設定の有無	無							
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足					
団体	13	13	各団体の会員は含まず、長を会員とする					
人数	13	13						
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26 年度	27 年度	28 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	50	0	0					
一般財源	350	0	350					
合計	400	0	350					
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足					
補助金 助成金	市	350	0					
	その他	50	0					
事業収入	0	560						
会費	0	0						
繰越金	185	277						
その他	0	100						
合計	585	937						
市の補助金の割合	60%							



補助金名称	世界遺産裾野市民協議会補助金	担当課名	生涯学習課
-------	----------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H25	年度
3内容	補助額の減額(500→350)				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	△	活動により、広く市民が直接恩恵を受けるわけではない
④市民ニーズが高い事業か	△	活動により、広く市民が直接恩恵を受けるわけではない
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	△	活動により、広く市民が直接恩恵を受けるわけではない
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	△	補助金額(定額)の根拠が不明確

補助金名称	世界遺産裾野市民協議会補助金	担当課名	生涯学習課
-------	----------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	今後検討
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	×	今後検討
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	△	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	×	繰越額が毎年高額残る
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	富士山芸術展の開催により参加団体の育成及び鑑賞機会の提供
2達成状況	継続的な活動を行っている

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	世界遺産登録という大きな目標を達成し、現在は、保護・保全のための活動が主となっている。

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	当初の目的は達成しているため、現在の活動への補助金の要否、金額について再検討
		見直しの時期	平成28年度
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			